

No.166 タカタ 民事再生法の適応申請 東京地裁に受理される

[2017年06月26日 NEWS WEBより]



<http://www.asiaq.net>

レッスンの前に、必ずニュースを聞いてください。

上級者向け・・・開けない場合は2ページ目を見てください。

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170626/k10011030331000.html>

レッスンを始める前に

- ・ニュースを聞き、内容をしっかりと読んでください。
- ・分からない単語は、辞書で調べてください。
- ・一人で音読できるように、練習をしてください。
- ・ニュースの感想を考えてください。

レッスンの進め方

1. 先に講師が読みますので、後に続いて読んでください。
2. 分からないところを質問してください。
3. 内容に対し講師が質問をしますので、答えてください。
4. このニュースが伝えたいことは何か、簡単に説明してください。
5. ニュースを見て思ったこと、感じたことを話しあいましょう。

レッスンの注意点

いっぱい話しましょう。間違えても構いません。

わからないところ、疑問におもったところはどんどん質問しましょう。

間違えたところはメモを取り、レッスンの後に復習をしましょう。

No.166 タカタ 民事再生法の適応申請 東京地裁に受理される



[2017年06月26日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事～

タカタ 民事再生法の適用申請 東京地裁に受理される

世界的なエアバッグメーカーのタカタは、アメリカなどで相次いだエアバッグの事故の影響で1兆円を超える負債を抱えて経営に行き詰まり、26日、東京地方裁判所に民事再生法の適用を申請し、受理されました。

タカタは、アメリカでエアバッグの不具合が原因となった死亡事故が相次いだことをきっかけに、日本など世界各地でリコールが拡大し、ことし3月期の決算は795億円の最終赤字に陥りました。

さらに、自動車メーカーが肩代わりしているリコールの費用を含めた負債の総額は1兆円を超えています。

タカタは自主再建の方策を探ってきましたが、関係企業などからの支援が得られないまま経営に行き詰まり、26日、東京地方裁判所に民事再生法の適用を申請し、受理されました。1兆円を超える負債を抱えての経営破綻は、国内の製造業では過去最大だということです。

また、アメリカなどにある海外の子会社12社は25日、アメリカのデラウェア州連邦破産裁判所に、日本の民事再生法にあたる連邦破産法11条の適用を申請して、経営破綻しました。

タカタは今後、裁判所の管理下でリコールの対応などに専念し、それ以外の自動車部品の製造などのすべての事業は中国企業の傘下にあるアメリカの大手部品メーカー、KSS=キー・セイフティー・システムズにおよそ1750億円で譲渡して、両社の事業を統合することで基本合意しました。

タカタは戦後、シートベルトなどの製造で事業を拡大し、エアバッグの分野では、世界の3大メーカーの一角に成長しましたが、大規模なリコールへの対応の遅れなどで消費者や関係企業の信頼を失い、経営破綻に追い込まれることになりました。